

# 基金情報

No. 68

平成19年9月号

発行：東日本硝子業厚生年金基金  
〒130-0026 東京都墨田区両国4丁目36番6号 ガラス会館3階  
Tel 03-3633-6445 FAX 03-3633-7125  
ホームページ <http://www.glskkn.com>

## 平成19年度・主要事業概況

事項	8月末数	対前月増減数	事項	8月末数(累計)	
事業所数(件)	243	0	年金掛金	調定額(円) 650,743,740	
加入員数(人)	男子	5,297	-14	収納額(円)	645,897,088
	女子	2,252	-7	収納率	99.26%
	計	7,549	-21	事務費掛金調定額(円)	27,993,180
平均標準給与月額(円)	男子	343,899	457	資産運用	信託資産額(時価) 354億3,002万円
	女子	228,361	687		修正総合利回り -2.36%
	計	309,432	537		ベンチマーク差 -0.52%
受給者数(人)	5,598	28	慶弔金の支給件数・金額	31件58万円	
平均年金額(円)	480,836	602	年金相談件数	379件	

## 第90回代議員会が開催されました

平成19年9月25日に第90回代議員会が開催され、平成18年度決算等に関する審議が行われ、それぞれ原案どおり議決・承認されました。

議案事項は次のとおりです。

1. 平成18年度決算(案)及び決算監査結果について
2. 平成18年度不足金処理・剰余金処分(案)について
3. 積立水準の回復計画(案)について
4. 財政再計算結果及びその対応について
5. 別途積立金の取崩し(案)について
6. 規約・規程の変更(案)について

## 平成18年度決算結果

### 年金経理

年金給付や年金資産の管理運用などを行う経理

平成18年度・年金経理決算結果(損益計算書)

科	目	金額(円)
収	掛金収入	2,086,434,963
	受換金	0
	負担金	160,034,408
益	信託資産に係る運用収益	2,290,307,678
	保険資産に係る運用収益	0
	受入金	605,581
勘定	計	4,537,382,630
費	給付費	2,356,204,567
	移換金	215,659,395
	拠出金	1,802,720
用	運用報酬等	119,943,007
	業務委託費	21,572,984
	コンサルティング料	6,300,000
勘定	指定年金数理人費	630,000
	特別支出	0
	給付債務増加額	524,218,000
定	未償却過去勤務債務減少額	756,238,778
	計	4,002,569,451
	収支差引・計	534,813,179

年金経理においては、平成18年度運用利回りが6.63%で22億9千万円の運用収益が得られ、その結果約5億3千万円の当年度剰余金が発生しました。

### 業務経理・業務会計

基金を運営するための経費を処理する会計

収益勘定		費用勘定			
科	目	金額(円)	科	目	金額(円)
掛金収入	85,815,954	事務費	54,514,160		
雑収入	656,629	代議員会費	988,838		
不足金	0	機械処理経費	4,132,728		
		繰入金	171,481		
		雑支出	1,471,442		
		剰余金	25,193,934		
計	86,472,583	計	86,472,583		

加入員の減少により、掛金収入減。ほぼ例年並み。節約に努めました。

### 業務経理・福祉施設会計

種々の福祉施設事業を行う会計

収益勘定		費用勘定			
科	目	金額(円)	科	目	金額(円)
掛金収入	0	事務費	14,294,165		
施設収入	0	福祉施設費	1,470,000		
受入金	0	雑支出	182,783,662		
雑収入	2,102,478	剰余金	172,079,416		
戻入金	368,524,765				
計	370,627,243	計	370,627,243		

平成18年6月、保養所の売却に伴い、基本金の取崩しや減価償却引当費を取崩した為、1億7千2百万円の当年度剰余金が発生しました。

## 平成18年度不足金処理・剰余金処分

剰余金の処理は繰越不足がある場合はそれに充当し、残余がある場合は別途積立金として積立てることとされています。当年度剰余金約5億3千万円については翌年度に繰越します。

## 積立水準の検証結果

基金では財政の健全性をチェックするために毎決算時に年金資産の積立水準の検証を行っています。

積立水準の検証は、次の2点の観点で行います。

①基金が今後も継続するという前提で行い、将来発生が見込まれる給付と掛金及び運用収益を考慮し、必要な積立金を保有しているか検証(**継続基準の検証**)

②基金が基準日時点で解散した場合、加入者の受給権が確保されているかという観点で行う。即ち、現時点までに発生しているとみなされる債務(最低積立基準額)に見合う積立金を保有しているかの検証(**非継続基準の検証**)

### 継続基準

基準値は100%以上 ... 109%でクリア

### 非継続基準

基準値は90%以上 ... 82%で見直しが必要  
回復計画を継続実施

当基金の平成18年度末の年金資産の積立水準は**継続基準は基準値をクリアしていますが、非継続基準はクリアすることができません**でした。

この場合、回復計画を策定しなければなりません。当基金では既に平成15年度から策定・実施しており、平成22年度には基準値に達する見通しとなっており、現時点での掛金の見直しは必要はありません。

## 財政再計算結果

### 財政再計算とは

掛金の見直しを意味しています。厚生年金基金などでは、5年毎に財政再計算が義務付けられています。これは、年金財政の長期的な健全性を保つために行われ、掛金の算定の基礎となる基礎率を過去の実績や将来の見通しに基づいて再検討し、新たに掛金率が算定しなおされます。財政再計算の結果は、代議員会の承認を得た上、厚生労働大臣にその報告書を提出することとなります。

### 財政再計算結果のポイント

- 代行部分の掛金率は3.8%で据え置き
- プラスアルファ部分(上乘せ部分)の掛金率は0.5%となり、0.2%引上げ要
- 特別掛金収入現価は、別途積立金86億円を全額留保したとした場合、120億4千9百万円(決算結果:84億円)で特別掛金率は4%必要

### 《掛金率引上の要因》

- 死亡率の改善
- 加入員の平均年齢・人員構成の変化→主に連合会移換金現価率(3.2%)計算によります。

### 財政再計算結果の対応

- プラスアルファ部分の掛金を0.2%に引上げ、特別掛金を0.2%引下げ、現行(7.1%)と同じ掛金とする
- 特別掛金の引下げは別途積立金を取崩して充てる。この結果、別途積立金は43億円となる。
- 掛金率変更年月日 平成20年4月1日
- 平成20年2月開催予定の代議員会において、掛金率変更の規約変更を提出

### 年金相談についてのお願い

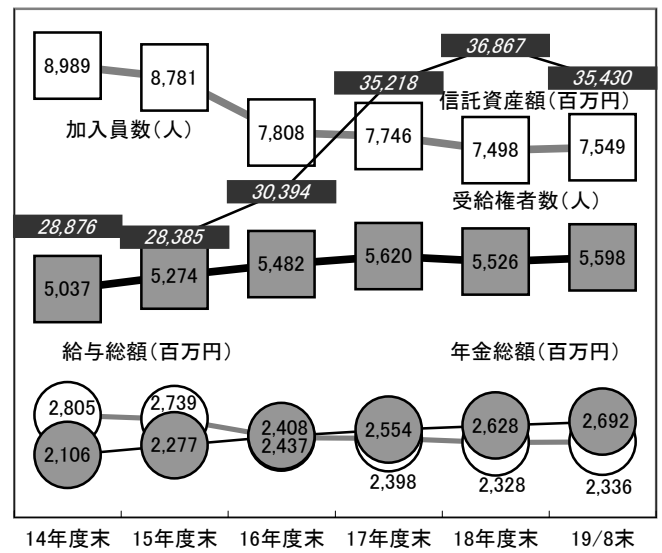
従来、電話でもお答えしておりました年金額などのご相談につきまして、個人情報保護を目的から今後は書面にて回答させていただきます。

また、事業所のご担当者の方など第三者の方からお問合せいただく場合には、お手数ですが委任状をご提出ください。

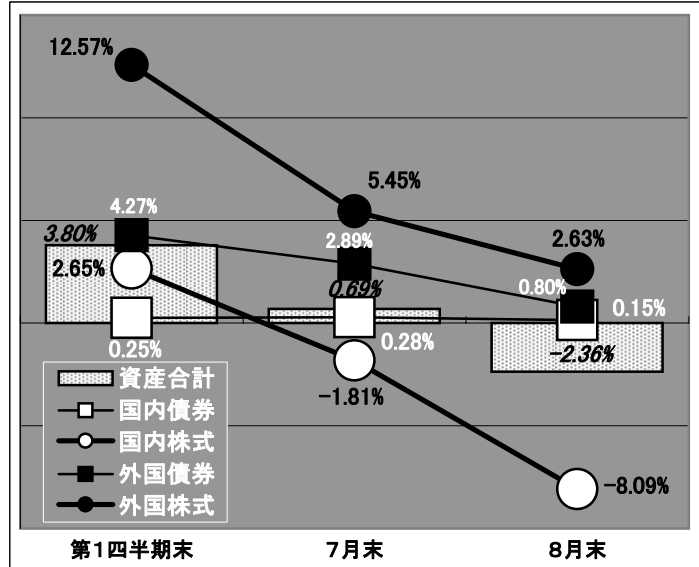
### 年金の確実な支給のために

当基金では退職により当基金を脱退された方が、年金支給開始年齢に達する前月末に退職時のご住所あてに「裁定請求書」を送付して年金請求をするよう通知しておりますが、退職後に住所、氏名の変更があり、基金へご連絡が無い場合、裁定請求書がご本人に届かず、年金支給ができないことがあります。この様なことを防ぎ、年金を確実に支給するために、ご退職される方へ住所や氏名に変更があった場合は当基金に必ずご連絡くださる様、お知らせ願います。事業主の皆様、加入員の皆様にはご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

## 主要事業の推移



### 年金資産の運用状況・修正総合利回り<平成19年度>



### 設立事業所の異動(規約変更関係等)・8月処理分

異動区分	事業所名	異動内容(新)	適用年月日
事業主変更	市川真空(株)	市川 勉	H19.8.8
事業主変更	セントラル硝子工事(株)	山下 義嗣	H19.8.1
所在地変更	北海計量器(株)	千代田区岩本町1-2-6	H19.7.12

### 10月の事業予定

- 中旬 第2四半期分の業務報告書の提出
- 下旬 第2四半期の資産運用報告ヒヤリング

### 【お願い】

当「基金情報」を加入員の方々が開覧いただけるようご配慮お願いいたします

### ホームページでもご覧いただけます

当「基金情報」をホームページに掲載しています  
 創刊号から直近号までご覧いただけます  
 加入員の方も職場や家庭でぜひお読みください  
<http://www.glskkn.com>